加工食品

宮崎県　道本食品（株）
『たくあんをアメリカ、台湾、香港、タイ等へ』

【主な品目】

宮崎県産 天日干したくあん

【主な輸出先国・地域】

米国、台湾、香港、タイ等 (全18都市)

【輸出取組の概要】

- ◆ 売上全体のうち輸出は2%。そのうち半分はアメリカ。
- ◆ 輸出先に応じてアルコール分を抜く、人工甘味料を使う、包装材に「たくあん」の食べ方をイラストにして外国人が理解できるように表示するなどの工夫。
- ◆ ISO22000、トレーサビィティ、HACCPに対応。

【輸出実績】（平成12年度より輸出開始）

	輸出量(kg)	出荷時期
平成28年度	24,700	通年
平成27年度	20,200	
平成26年度	23,600	

2016年10月
フランス、パリで開催の
シアル商談会に参加

【取り組む際に生じた課題】

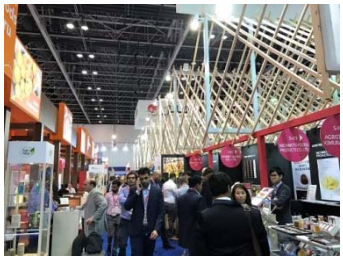
- ①当初国内輸出商社に輸出への支援を求めたものの協力は得られなかった。
- ②日本食レストラン、日本食材のディストリビューター、インポーター情報が無い。
- ③現地のディストリビューターは中国、韓国系が多く日本の食品への愛着が薄い。

【生じた課題への対応】

- ①機会を見つけ海外の商談会に参加。（1回で成果は困難。複数回参加が必要）
- ②情報を求め海外の展示会へ積極的に参加しインポーターを探し情報を得た。
- ③日本人スタッフのいる現地ディストリビューターを探して交渉を行った。

【対応の結果】

- ①繰返しの訪問で現地バイヤーに認められ、国内輸出商社との契約に繋がった。
- ②相手のニーズを把握し、対応することで商談がまとまりネットワークも広がった。
- ③日本人スタッフが殆どいないため、キーマンを見つけ交渉するしかなかった。



2017年3月
UAE、ドバイで開催の
ガルフード商談会に参加

【今後の課題・展望】

- 諸外国は、日本製品を高く評価し信頼しているため、ビジネスチャンスは十分あると考えるが、中国、韓国との差別化が必要。
- 南米、アフリカで通用する商品開発が課題。
- 世界初たくあんの缶詰を開発(特許取得、常温3年保存)したので、保存設備の無い地域や日持ちの必要な遠隔地等へ販路拡大に向けて取り組む。

【活用した支援・施策】 JETRO輸出有望案件発掘支援事業

【ウェブサイト】 http://www.hinatazuke.co.jp/

【連絡先】 担当者名：海外営業担当　道本理一郎、TEL：0985－86－0006